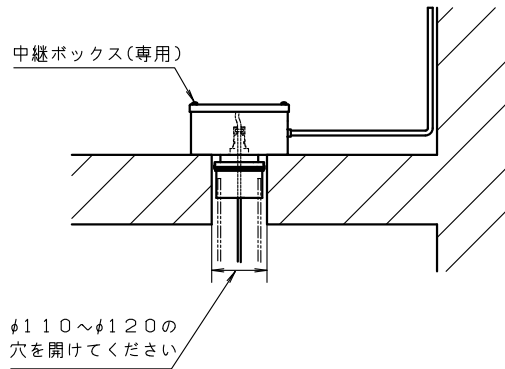
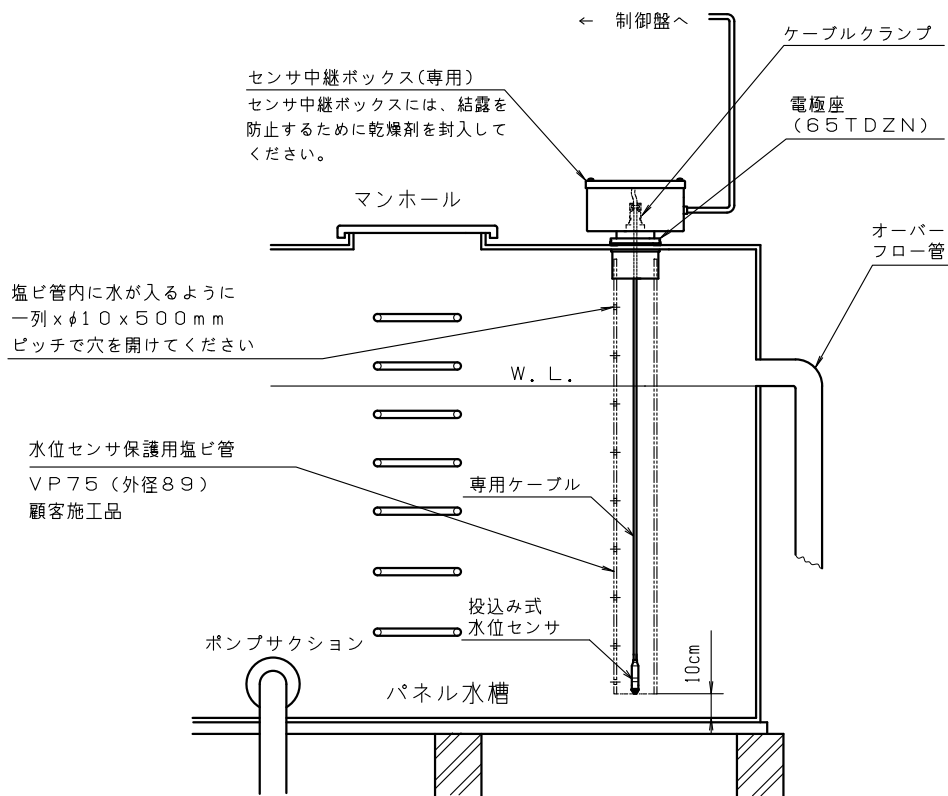
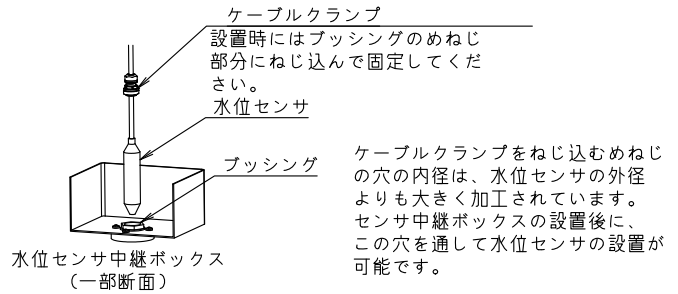


## 投げ込みセンサの設置例

コンクリート水槽



水位センサの設置および取付高さ調整は、センサ中継ボックスの施工後に実施できます。



### <注意>

- ・パネル水槽上部に、電極座の取付穴φ75を設け、電極座で挟み込んでセンサ中継ボックスを設置します。
- ・センサ中継ボックスの設置場所は、湿度が高い場所を避けてください。
- ・センサ中継ボックスには、結露を防止するために乾燥剤を封入してください。  
乾燥剤は年に一回程度の交換を行なってください。
- ・センサ中継ボックスの設置場所は、水位センサの故障時に交換が必要ですので、容易に交換作業のできる場所に設置してください。
- ・コンクリート水槽の場合は、水槽の上部に電極座が入るφ110～120の穴を設けてセンサ中継ボックスを設置します。その後、中継ボックス内からコンクリート上へアンカーボルトを施工し固定します。
- ・センサ保護用の塩ビ管を取り付ける場合には、下から電極座に差し込んで接着してください。
- ・センサ保護用の塩ビ管にはφ10程度のエア抜き用の穴を縦に数箇所、必ず開けてください。
- ・エア抜き用の穴は必ずオーバーフロー管の位置より上にも開けてください。
- ・水位センサはセンサ中継ボックス内の穴から水槽内に投入し、ゴミ等の堆積を考慮して、水槽の底面から10cmほど上に設置してください。センサ中継ボックス内に設けてあるケーブルクランプで締め付けて固定してください。
- ・水位センサはポンプのサクシオン配管から十分に離して設置してください。